

船舶事故等調査報告書

平成22年5月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第31号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年12月25日 18時30分ごろ	
発生場所	阪神港神戸第4区	
事故等調査の経過	平成22年2月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三十五^{かつ}勝丸、498トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134189、勝丸海運建設株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼に曲損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約4.0m、船尾約5.0mの喫水で、高炉スラグ約1,750トンを積載し、阪神港神戸第4区において着岸作業中、平成21年12月25日18時30分ごろ、船尾船底付近に異常な音を感じた。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 1</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、阪神港神戸第4区の岸壁付近で着岸作業中、浅瀬の存在を承知していたが、浅瀬を回避するよう、操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が阪神港神戸第4区において着岸作業中、浅瀬を回避するよう、操船を適切に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	